

指令件名及年月日

採リタル措置ノ概要

昭和二〇・一・二〇
勞務者月報ニ關スル件

一月二二日本件月報提出方ニ關シ地方長官宛通牒ヲ發ス
「マ」司令部ニ報告

昭和二〇・一・二八
職業政策ニ關スル件

一月一〇日法律第一號ヲ以テ入管者職業保障法廢止及同日
學生省令第二號ヲ以テ昭和二十年勅令第五百四十三號ニ基
ク勞務者ノ就職及從業ニ關スル省令公布並ニ昭和二十年十
二月二十一日學生省令第一四四號ヲ以テ職業紹介業務規
程中改正及同日附告第一四五號ヲ以テ勸勞配置規則ニ依
ル雇入從業者ノ範圍ノ指定告示廢止ヲ爲シ其ノ確實ナル實
行ヲ保證セリ
尚官業ニ關シテハ各省ニ於テ關係方面ニ對シ訓令ヲ爲スベ
ク準備中ナリ

昭和二〇・一・二六
石炭生産ニ關スル件

一月二日末日迄ニ勞務者六六、八七三人ヲ充足シ尚石炭ヲ含ム
一三〇、〇〇〇ヲ本年三月末日迄ニ充足スハク指置中
要派アリタル失業統計ニ代リ六大都府縣職業紹介投到率指

昭和二〇・一・二三

失業統計ニ關スル件

數ヲ提出スルコトニ了解ヲ得 第一回報告ヲ提出済

社會

昭和二〇・一・二二
救済用配給物資ノ貯備ニ關ス
ル件

救済用物資給與計畫案ヲ樹テ日次ニ亘ル修正ヲ爲シ十二月
十四日決定案ヲ作成シ加藤保護課長マ司令部ニ提出ス
右ニ對シ十二月二十六日承認ノ回答アリ因テ十二月三十一
日地方長官ニ通牒ヲ發ス

昭和二〇・一・二一
救済法福祉計畫ニ付

救済福祉計畫ヲ樹テ加藤保護課長マ司令部ニ十二月三十一
日提出ス

昭和二〇・一・一九
併合國ノ敵國タリシ國ノ國民
ノ救済

同上指令ニ基ク要救済國民トハドイツ人ノミニシテ現在内
地ニ在住シ生活困難シアルドイツ人ハ概算一般入一七、一〇
人ト海軍水兵ニ九、〇八人計ニ〇、〇〇〇人トシ此等ドイツ人ニ對
シ救済經費トシテ十二月ヨリ三月迄四ヶ月分一、二〇〇、〇〇〇
〇円ヲ昭和二十年年度豫備金ヨリ支出セリ、實際要救済八員

指令件名及年月日

採リタル措置ノ概要

八海軍水兵二九〇人、一般入八一八人計一、〇八八ニシテ
月一五〇四四ケ月分ヲ配布セリ
二十一年度分ニ付テハ一月一五〇四四(半年分九〇〇四)
一、〇〇〇人分ノ豫算ヲ以テ配布計画ナリ、二十一年度ニ
於ケル要政済実数ハ海軍水兵ニ四九八、一般入六八八人、
計九三七八ノ見込ナリ

昭和二二・二九

東京地域ニアル台湾人学生ニ
関スル件

同上指令ニ基キ東京地域ニアル台湾人学生数及学生中要政
済者ヲ調査セル処学生数九三〇人、要政済者九一四人ナル旨
聯合國司令部ニ通報スルト共ニ此等要政済学生ニ對シ月一
五〇四ノ生活援護費ヲ支給シツ、アリ

昭和二二・二七

朝鮮人、中国人、琉球人及台
湾人ノ登録ニ関スル件

同上指令ニ基キ三月八日ノ閣議ニ於テ朝鮮人、中華民國人
琉球人及本島人登録実施要綱ノ決定ヲ見右実施要綱ニ依リ
三月十三日內務、學生、司法省令第一號「朝鮮人、中華民
國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(國ノ島ヲ含ム)鹿
兒島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者登録令」ノ內務、學生共同告

昭和二二・二七

救済福祉計画ノ件

示第一號、學生省告示第三十三號ヲ夫々公布施行、三月十
八日ヲ期シテ全國各都道府縣ヲシテ一斉ニ要登録者ノ登録
ヲ實施シ、ソノ結果ヲ三月三十一日迄集計報告セシムルニ
トシ目下全國ノ登録ノ結果ヲ集計中ナリ
指令ニ基キ中央地方政府救済機構ノ擴大單一抱括的社會救
済法ノ制定其ノ他ニ付努力中ナリ
尚昭和二二・四一救済福祉計画経過報告ヲ司令部學生課ワ
イマン少佐ニ提出ス又各種保護法規其ノ他ニ依ル保護ノ状
況ニ関シテハ目下各地方長官ニ照會中ナリ

昭和二二・二二

救済用貯蔵冬期衣料配給ニ関
スル件

三月一日無電ヲ以テ配給早急開始ヲ各地方長官宛通牒ス

保
險

昭和二二・一五

神道禁止ノ件

(「大東亞」ノ字句削除ノ件)

資料調査ノ上左記法令改正方手續中
備考
一、船員保險法關係法令
二、學生年金保險法關係法令

指令件名及年月日

昭和二〇・一・二八
職業政策ニ関スル件

昭和二〇・一・二四
恩給年金ニ関スル件

昭和二一・一・二九
聯合軍總司令部ニ提出スベキ
特別會計歳入歳出豫算案ノ様
式等ニ関スル件

昭和二一・二・四
昭和二十二年度豫算関係通達

目下法令改正方針中
備考
一 船員保険法関係法令
二 厚生年金保険法関係法令
恩給等ヲ廃止セラレタル軍人等ニ對シテノ取扱ニ関シテハ
社會保険制度審議會ニ諮問シ措置ヲ採リツツアリ
一 款項別前年度比較表
二 補助費ノ事項別前年度比較表
三 新種類ノ補助金ノ明細書
四 災害特別會計及豫算案内容ノ概要説明 以上二月九日書
記室ニ提出
一 特別會計ノ最新ノ資産負債ノ明細表
二 特別會計及其ノ経営スル事業ノ目的 内容及活動状況ノ
概要説明書 以上二月十五日書記室ニ提出

昭和二一・二・二六
政府代理機關該當機關調査資
料ニ関スル件

昭和二一・二・二八
職業政策ニ関スル件

昭和二一・二・二八
國家神道禁止ニ関スル件

昭和二一・二・二八
職業政策ニ関スル件

昭和二一・二・二五
國家神道 神社神道ニ對スル

政府ノ保證支拂ノ保 統制及
公布ノ廢止等ニ関スル件

一 財団法人土木建築學生會該當機關トシテ提出
右二月二十八日書記室ニ提出

厚生年金保險法中國籍ニ依ル差別ヲ撤廢シ外國人タル者モ
被保險者ト爲スベク又同法中ヨリ「大東亞戰爭」ナル文字
ヲ削除スル改正ヲ爲ス

船員保險法中國籍ニ関スル規定及大東亞戰爭ノ文字ニ付緊
急勅令ヲ以テ改正ス（昭和二一・二・二六勅令第四十三號）

（上記ニ件名ヲ一括シテ措置ニ有之）

指令件名及年月日

引揚

昭和三〇、一〇、一一
引揚有取扱ノ為内地後入事務
所設置ニ関スル件

採リタル指置ノ概要

地方引揚後護局ヲ設置シ引揚者ノ給與、税関、運輸、検疫
医療等ノ事務ヲ單一機關ニ依リ処理スル為十月三十日保健
課長(之ガ官制ヲ指令シ司令部ニハワイマン大佐ニ銜接)
出頭諒解ヲ得タリ

昭和三〇、九、二二

金銀有價証券及金融手段ノ輸
出入統制ニ関スル件

上陸港ニ於ケル引揚邦人ノ持帰金規制ニ関シテハ大藏省外
資局長、海運総局長官ヨリ関係方面へ通牒ヲ発ス
朝鮮人帰還者ノ所持金ニ関シテハ各地方長官及関係方面ニ
通牒ス

昭和三〇、一〇、二五

日本ニ於ケル帰還引揚者ニ對
スル受入施設ニ関スル件

イ 検疫施行港ノ指定
本覚書ニ指定セラレタル使用港湾中未ダ海港検疫法ニ於
テ検疫指定港トシテ指定セラレザル左記港湾ヲ新ニ指定
セリ
浦賀、舞鶴、吳、博多、仙崎、佐世保(六港)
ロ 検疫ノ開始

本覚書ニ依リ指定セラレタル十港ニ對シ取り敢へス検疫
官ヲ派遣シ即時検疫ヲ実施セリ

ハ 検疫所ノ設置

本覚書ニ指定セラレタル港湾ニ對シテノ検疫能力ヲ指定
セラレタル能力迄ニ充實セシムルタメ既設建物ヲ利用シ
テ急速ニ該管ヲ開始シ既ニシノ大半ヲ完成セリ

ニ 本覚書ノ指示ニ從ヒ十月三十一日検疫所ノ組織及運営計
畫ヲ司令部ニ提出セリ

イ 本覚書ニ関シ十一月三日司令部公衆衛生部ニ於テサム
ス郎長主催ノモトニ同部係官及學生省臨時防疫局長検疫
課長、防疫課長出席シソノ具体的実施方法ニ付キ協議ヲ
遂ゲタリ

ロ 本覚書ヲ各検疫所ニ配布シ実施方ヲ指示セリ

イ 本覚書ニ付テモ前項イノ會議ニ於テ同時ニ其ノ内容ニ関
シテ討議協議シ緋人、華人ノ引揚者ニ對スル衛生措置トシ
テ仙崎、博多、鹿兒島ノ三港ニソノ施設ヲ為シ更ニ吳港

昭和三〇、一一、一一

日本以外ノ國民ノ引揚ニ関ス
ル件

昭和三〇、一〇、二五
歸還者ノ上陸ト港ノ衛生ニ對
スル医療施設ニ関スル件

指令件名及年月日

株リタル指置ノ概要

ヲ右三港ノ補助港トシテ使用スルコトトシ夫々準備ヲ進

行セリ

口右ニ關係アル檢疫所ニ對シ本件実施方ノ指示アリ

イ本件ニ關シ十一月一日マ司令部公衆衛生部ニ於テ

ス大佐 マレー大佐 ウイルヤムス中佐及厚生省檢疫課

長 防疫課長會同シソノ内容ヲ研討スルト共ニD.D.T及

ソノ散布機械ヲマ司令部ヨリ供與セラルルコトノ了解ヲ

得タリ

口マ司令部ヨリノ要求ニヨリD.D.Tノ使用法ノ日本語譯文

及朝鮮語訳文ヲ作成シ之ヲ提出セリ

イ十一月八日マ司令部公衆衛生部檢疫主任官マレー大佐ノ

申入ニ依リ厚生省檢疫課長案内シ浦賀檢疫所ヲ視察セリ

口十一月十一日マ司令部ヨリノ要求ニヨリ厚生省檢疫課長

同司令部ニ出頭シ聯合國最高司令部軍医長ノニース中佐

及公衆衛生部マレー大佐ト會同シ檢疫所設置ノ進捗状況

視

察セリ

並ニ檢疫ノ実施状況ヲ詳細説明ヲ爲シタルニ對シ

ス中佐ヨリ各檢疫港視察ノ結果大體ニ於テ檢疫ハ現在滿

足スヘキ状態ニ進行シツアルモ檢疫ノ困難性ニ鑑ミ尚

一層コノ努力ヲ継続セラレタシトノ意見開陳アリ

ハ十一月十八日約二週間ノ豫定ヲ以テマ司令部公衆衛生檢

疫主任官マレー大佐ノ希望ニ依リ厚生省檢疫課長案内シ

米第六軍トノ打合せ及中國九州地方ノ各檢疫実施状況ヲ

視察セリ

指令ニ從ヒ朝鮮人 支那人等ノ引揚港ヲ指定シソノ輸送計

画ヲ樹立ス

十月十五日ノ指令ヲ變更シ引揚港トシテ横浜ヲ削リ宇品ヲ

追加ス

指令ニ從ヒ地方引揚保護局ノ機構ヲ説明シ京都及横浜ニ連

結ス

昭和三十四年十一月九

ケル收容事務所ニ關スル件

昭和三十四年十一月九

ケル收容事務所ニ關スル件

昭和三十四年十一月九

ケル收容事務所ニ關スル件

昭和三十四年十一月九

指令件名及年月日

採リタル措置ノ概要

引揚者收容本部ノ機構並ニ作
用ニ関スル件

終官ヲ置ク コマンド部ニ報告

昭和ニ〇、一、二八

指令ニ從ヒ上記物件ニ對スル染色及標識ヲ決定セリ

日本帰國者ニ依ル米軍需品利用
ニ関スル件

コマンド部ニ報告

昭和ニ〇、一、二七

引揚民受入ニ對スル日本ニ於
ケル收容所ノ件

十一月十七日ノ指令ノ中矣、半品ノ能力ヲハハロト要ス

昭和ニ〇、一、二九

歸還者ニ對スル供與 運輸及
候益ニ関スル件

指令ニ從ヒ上記ノ經費ハ凡テ政府ニ於テ負担スルコトトス

昭和ニ〇、一、二二

日本ヨリノ外國人歸還ノ件

鹿児島ニ十二月十四日ヨリ隔日ニ北支ヨリニ四〇〇名揚陸
スルコトトナレ

昭和ニ〇、一、二四

米國船舶ニ依リ歸還スル引揚
民ニ關スル件

米國船舶ヲ使用スル場合ニハ必要ナル食糧、医薬品等ハ日
本政府ニ於テ準備スルコトトス

昭和ニ〇、一、二四

舞鶴地方朝鮮人引揚民ニ關ス
ル件

舞鶴ニ待檢中ノ朝鮮人一萬人ヲ九州諸港ヨリ送還スルコト

昭和ニ〇、一、二五

厚木船行場附近ニ宿營中ノ台
灣人引揚ニ關スル件

上記ノ箇所ニ宿營中ノ台湾人七六〇〇名ヲ優先的ニ送還ス

昭和ニ〇、一、二六

上陸用舟艇ヤタンクニ依ル朝
鮮人又那人ノ歸國

朝鮮人日々三千人佐世保ヨリ來船セシムル様手配セリ

昭和ニ〇、一、二七

琉球ニ歸還ノ件

琉球ニ歸還ヲ欲スル者ノ數ヲ報告、内務省地方局總務課ニ
テ処理セリ

指令件名及年月日	採リタル措置ノ概要
昭和ニ〇、一三、一九 台湾人及インドネシア人ノ帰還ニ関スル件	吳ノ泰安丸ニテ三五〇〇名ノ台湾人ヲ送還スベキ指令アルモ同船八目下修理中ニテ二月中旬出航ノ際定ナリ
昭和ニ〇、一三、三二 台湾人及琉球人が朝鮮カラ日本經由ニテ帰還スル件	上記ノ朝鮮人三名、琉球人五名ヲ鹿兒島ニ輸送スベク処置セリ
昭和ニ〇、一三、二四 引揚者受入ニ對スル日本ニ於ケル收容所ノ件	十一月十七日ノ指令ノ中浦賀ノ收容能力ヲ入港ニ〇〇〇〇〇出港一五〇〇ト修正
昭和ニ〇、一三、二九 引揚者ノタメノ日本ニ於ケル受入事務所ニ関スル件	田辺港使用ニ関スル日本政府ヨリノ申請ハ拒否セラレタリ
昭和ニ一、一、二二	指令ニヨル沖繩縣引揚者ニ對シ食糧、衣類等ノ支給方ハ既

沖繩人ノ帰還ニ関スル件	二指置シツツアリ
昭和ニ一、一、三三 上海ヨリノ日本人引揚ニ関スル件	一月五日ヨリLSTガ一日三〇〇〇名ノ割合デ上海カラ佐世保ニ入港
昭和ニ一、一、二六 琉球人ノ復員ニ関スル件	指令ニヨリ琉球人ノ送還計画ヲ樹立中ナリ
昭和ニ一、一、二五 日本人ニ非ル者ノ日本ヨリノ引揚	朝鮮人ノ送還ニ付テハ一、二四附各地方長官宛趣旨徹底方無電ニテ指令セリ 一、二八附社登第一六九號ヲ以テ從來ノ計画輸送ノ枠内ニテ二月一日ヨリ市区町村長奉行ノ帰還証明書ニ依ル個人輸送ヲモ認メ送還ノ促進ヲ図レリ 台湾人ノ送還ニ付テハ計画輸送ノ都度台湾省民帰國委員会及關係地方長官宛其ノ旨連絡シ極力集結ヲ図レリ
昭和ニ一、一、二五	覺書ニ基キ米山丸ハ高座工廠工員及復員軍人ニ〇七七名ヲ

指令件名及年月日

採リタル措置ノ概要

日本在住台湾人ノ引揚

乗船セシメ一月二十九日ニ、永祿丸ハ台湾省民二一五五名ヲ乗船セシメ同日三十一日ニ大々浦賀港ヨリ出航セシメタリ

昭和二一、一、二九

癩患者引揚ニ関スル件

一、二九附各地方長官宛無電ニテ癩患者及之等傳染病患者ノ送還ヲ為サハル採指令ス

昭和二一、一、二九

日本朝鮮間日本人引揚往復船

帰還希望者ノ登録實施後ノ計画輸送ニテ企劃ス

昭和二一、一、二九

朝鮮人送還

同上

昭和二一、一、二九

台湾人帰還者検疫及隔離ノ件

三、一六附無電ニテ廣島縣知事及各關係地方長官宛台湾省民送還ニ件集結地ハ吳地ニ限定セラレ收容所到着種痘後十四日間隔離スヘキ旨指令ス尚宇品引揚援護局ニハ充分徹底セシメ遺憾ナキヲ期ス

昭和二一、三、一九

北朝鮮ニ本籍ヲ有スル朝鮮人ノ日本引揚停止ニ関スル件

三、ニ三附各地方長官及關係引揚援護局長宛無電ニテ北朝鮮人ノ帰還ハ指示アル迄停止ナル旨通牒ス

昭和二一、三、一八

日本ヨリ琉球へノ引揚中止

三、二一附各地方長官宛無電ニテ指示アル迄西南諸島帰還者ノ送還ヲ中止シ鹿児島ニ於ケル滞留者ハ出奔府縣ニ送還ス之ヲ希望セザル者ハ鹿児島近縣ニ收容スヘキ旨通牒ス

昭和二一、三、二五

朝鮮人引揚民ノ乘継

三、二五附浦賀引揚援護局長宛電報ニテ上陸セル三名ノ結核患者ヲ隔離ノ上保護ヲ加ヘ内地ヨリ送還セシムル様指令ス

昭和二一、三、二五

伊豆諸島へノ引揚送還

三、二五附東京都及關係汽船会社宛伊豆諸島へノ帰還ハ許可ナクシテ帰還シ差支ナキ旨通達ス

昭和二一、三、二九

朝鮮人引揚者ノ乘継

佐世保引揚援護局へ無電ニテ乘継ノ為上陸スベキ朝鮮人ノ保護並ニ朝鮮へノ送還方指令ス

指令件名及年月日

採リタル措置ノ概要

昭和二一・三・三〇
日本人犯罪者ノ台湾ヨリノ送還

司法省ニ於テ措置セルモ鹿児島引揚援護局宛周知方無電ヲ以テ指令ス

昭和二一・一・一九
癩患者引揚ニ関スル件

各檢疫所ニ癩患者ノ日本ヨリ朝鮮へノ引揚ヲ禁ズル様通報処置ヲ指ラシム

昭和二一・一・二三
日本ニ於ケル引揚者処理ノ爲ノ收容所ノ件

本覚書ニ基キ新設別府、唐津、田辺ノ施設準備ノ爲、山田大友防疫官ヲ現地ニ派遣各省ト聯合調査セシム
田辺ハ旧田辺海兵團及旧紀伊防備隊施設ヲ使用要員ハ旧海軍関係ヨリ準備シアリシ爲田邊ニ進捗檢疫ヲ開始ス
唐津ハ厚生省臨時海港檢疫所ヲ縣当局ト連絡ノ上使用ス
別府ハ國立亀川病院、別府病院、大分病院ヲ中心トシ縣衛

昭和二一・一・二六
引揚船ニ日本人医師及看護人配置ノ件

生課ト連絡設立ノコトハシ大竹檢疫所内田校師ヲ設立準備員トシテ現地ニ派遣ス
前記三港ヲ檢疫港ニ追加豫算的措置ヲナシ準備セリ
檢疫課、引揚援護課、医務課、医療局ノ関係者參集医療局、医療田、日赤、医師会、各大学医局等ニ働き掛テ医師ヲ募集シ、甲班医師一名、看護人二名、乙班看護人二名ヲ以テ班編成トシテ船舶ニ配乗セシムルコトハス
現予ニ復員省所屬船艇ニハ全部医師看護人アリ
右医療班ハ差当リ船舶運管会所屬船三十八隻ニ乗船セシムルコトトス

昭和二一・一・二九
引揚手續ニ關スル計画セラレタル変更

支那ヨリノ引揚計画ノ変更ニ伴ヒ計画ヲ樹立ス
尚本覚書ニ依リ指令サレタル種痘、發疹チブスワクチン、コレラワクチン接種ニ関シ右引揚計画ニ依ル各港割當員數ヲ基礎トシテ痘苗、コレラワクチンヲ準備配分ス
尚發疹チブスワクチンハ檢疫課長、マ副令部レックカー少佐ト協議聯合軍創ヨリ供與セラル、コトハナリ三月分二十四

指令件名及年月日

採りタル指置ノ概要

万人分受領各港ニ配分セリ、尚毎月引續キ供與セラルルコトナレリ

昭和三一・三・一ニ
引揚民收容所ニ於ケル缺陷ニ
關スル件

本覚書ニ指摘サレタル欠陥中医療、檢疫關係中、鹿児島及浦賀檢疫所ニ於ケル医療処置、消毒ノ不完全ニ就テハ嚴重ニ指示スルト共ニ治療品ノ補給ヲ行ヒ、ワクチン、血清類ノ欠乏セル莫ク就テハ、ニ九件指令ニヨル配給割当計畫ヲ促進セリ

昭和三一・三・三
引揚計畫ニ關スル医療材料

本指令ニ依リ發送セル医療用材料中其ノ大部分ハ注射針不足ノハ、博多、佐世保、鹿児島引揚援護局及長崎縣知事宛ニ發送シ外地ノ夫々ノ引揚港ニ發送方督促中

昭和三一・三・七
引揚民用医薬品補給ノ件

浦賀收容カ入港五〇〇〇、出港一五〇〇ニ減少セルモ對滯學校ハ、移転ハ現行ノ終トシ定員、豫算ニ就テハ別途処置

收容ノ件

ヲ請セリ

昭和三一・三・九
台湾人引揚者檢疫及隔離ノ件

本覚書ニ基キ引揚台湾人ハ宇品ニ停留施設ヲ準備シ十四日間ノ隔離及瘧疾ヲ実施セリ

昭和三一・三・一六
引揚ニ關スル件

本覚書中特ニ附録五医療及衛生的処置ニ就キ從來覚書ノ修正追加ヲ檢討、檢疫ノ方針ヲ本指令ノ線ニ沿フ如ク処置ヲトレリ

昭和三一・三・一九
引揚者処理ノ爲ノ日本ニ於ケル收容所ノ件

全文譯訳ヲ俟テ各檢疫所宛送付ス
本覚書ニ依リ別府廃止、名古屋新設ト決定セルヲ以テ直ニ吉田技師現地ニ出張各省ト聯合調査シ檢疫施設トシテハ旧三菱航空大江工場ヲ使用スルコトトシ愛知縣衛生課、名古屋医科大学ヲ中心トシテ要員ヲ整備スルコトトス、取敢ヘズ設立準備員トシテ大竹檢疫所内田技師、下関檢疫所中野技師ヲ派遣シ、四月七日開設ヲ目途トシ準備セリ
尚本省側ニ於テハ山田技師主務トナリテ同檢疫所資材ノ整備ニ當リタリ

指令件名及年月日

林リタル措置ノ概要

昭和一一・三・二四
引揚船内衛生状態改善案ニ関スル件

本覚書ヲ各検査所ニ通報シ船内DDTニ依ル昆虫駆除実施ニ協力スルト共ニ監督ニ任ズベキ旨ヲ指示セリ

昭和一一・三・二五
朝鮮人引揚民ノ乗継

本覚書中結核患者ノ処置ニ付キ浦賀検査所ニ通報ス

昭和一一・三・二八
引揚ニ関スル件

本覚書内容ヲ各検査所宛速報痘疹患者輸送船舶乗組員ノ痘疹ヲ実施セシム

昭和一一・三・三〇
引揚者処理ノ為ノ日本ニ於ケル收容所ノ件

本覚書ニ要求アル報告ヲ提出セリ

其ノ他

昭和一一・一・四
修身、日本歴史及地理科ノ廃止ニ関スル件

差当リ上記科目ノ取扱ニ関シ注意方各教員養成所長、各職業補導所長、失明傷痍軍人教育所長宛指示ス

昭和一一・一・二七
教育方針ノ変更ニ関スル件

軍國主義乃至極端ナル國家主義的教員養成所(ハ)及東京遺族職業補導所宛通牒ヲ發ス

昭和一一・一・四
公職ヨリ好マシカラザル者ノ罷免及排除方ニ関スル件

一月四日附指令ニ基テ昭和二十一年二月二十八日公布セラレタル指令第一號ハ昭和二十一年二月二十八日公布セラレタルヲ以テ之ニ依リ調査開始セル処

一月四日現在ニ於ケル勅任待遇以上ノ者ノ白ムル官職在職中ニ在リタル覚書該當者ニ二名中
五名ハ一月二十五日付ヲ以テ依願免本官
一五名ハ三月二十八日付ヲ以テ依願免本官
ニシテ殘餘ノ二名ニ就テハ公職罷免延期手續準備中トス
尚爾後採用ノモノニ就テハ勅令ニ依ル夫々手續ヲ為スベク